

2000年度 Block 6

課題 No. 7

「妻と一緒に住みたい」



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

「妻と一緒に住みたい」

シート10008

92歳の菅原まことさんは、4日前に転倒してしまい、動けなくなりました。疼痛はあるものの、安静にしていれば治るだろうと考えて、自宅で寝ていましたが、いつまでたっても立ち上がることができないので、近くの先生に往診をお願いしました。菅原さんは85歳の奥さんとの二人暮らしです。

## 【抽出を期待する事項】

- ・92歳…85歳の奥さんとの二人暮らしです。→A) - 1 少子高齢化社会到来の意味を理解する
- ・転倒してしまい→A) - 2 大腿骨頸部骨折の予防について理解する
- ・いつまでたっても立ち上がることができない→A) - 3 寝たきり老人の要因について理解する

「妻と一緒に住みたい」  
 の往診に来てくれた先生の話では、おそらく大腿骨を骨折しているよう  
 のなので入院した方がよいと言われました。

【抽出を期待する事項】

- ・大腿骨を骨折→A)-2 大腿骨骨折の病態及び治療法を理解する

## 「妻と一緒に住みたい」

## シート3

ホームドクター（往診に来てくれた先生）の紹介により、総合病院整形外科に入院しました。大腿骨頸部骨折の診断でした。痛みもあるせいか、入院の晩より落ち着かず、ベッド柵を乗り越えようとしたり、うなり声をあげ続け、鎮静剤の投与を要しました。精神科医師の診断を受けたところ、時間、場所が答えられず、また会話がとんちんかんで要領を得ません。妻は、夫がこの半年、迷子になったり物忘れが目立ってきたことを医師に告げました。主治医より心筋梗塞の既往があり、心不全の徴候もあるので手術は難しいとの話がありました。

## 【抽出を期待する事項】

- ・ 大腿骨頸部骨折→A)-2 どのようなとき疼痛を感じるか理解する
- ・ ベッド柵を乗り越え→C)-1 夜間不穏
- ・ 鎮静剤→C)-1 不穏の対処法について理解する
- ・ 時間、場所が答えられず→C)-1 失見当
- ・ 会話がとんちんかん→C)-1 疎通不良
- ・ B)-4 痴呆老人の増加のもたらす意味を理解する

「妻と一緒に住みたい」

## シート4

結局妻は手術を見送ることに決めました。病院のケースワーカーから介護保険申請を勧められ、妻は区役所を訪れ介護保険の申請を行いました。後日介護支援専門員（ケアマネジャー）が病院を訪れ、菅原さんと面談しました。要介護判定の結果、要介護度3と認定されました。

菅原さんは介護療養型医療施設を紹介され転院しました。リハビリテーションを受けるうち、菅原さんは、妻の名前を呼ぶようになり、家に帰りたいたと話すようになりました。

最近新聞にケアマネジャーが老人介護について色々と相談にのってくれることや介護保険制度にもまだ問題が多いことが載っていました。妻は、在宅での介護が可能か再度ケアマネジャーに相談することにしました。

## 【抽出を期待する事項】

- ・介護保険申請を勧められ→B)-1 介護保険制度が成立した背景を理解する
- ・病院のケースワーカーから介護保険申請を勧められ→病院における医療ケースワーカーの役割を理解する
- ・介護保険の申請を行いました→B)-2 要介護認定がどのような手順でなされるか理解する
- ・介護療養型医療施設→B)-3 介護施設にはどのようなものがあるか述べることができる
- ・介護保険制度にも問題→B)-1 介護保険制度が成立した背景を理解する